

仁淀川シンポジウム ~仁淀川はみんなの宝~

2011年2月6日(日) かんぼの宿

各プロジェクト発表より紹介

(1) 仁淀川に親しむプロジェクト(講師：NPO 法人仁淀川お宝探偵団 城下秀二氏)

- ・水切りを実施するための石探しから始めた。丸い、平たい石を投げて何回跳ねたかを競って遊ぶものである。非常に原始的で楽しい。水切りは仁淀川お宝探偵団でも、「仁淀川国際水切り大会」という名称で、外国の方にも参加していただいている。次に水切りの投げ方の説明を行った。普通に投げればいいのではなく、投げ方にもコツがある。子どもから投げ始め、次に大人も投げ始めた。こういう遊びは大人ほど真剣になり、子どもそっちのけで大人が楽しく投げ出す。これが一番良い姿ではないかと思う。
- ・この後、川に親しむということで、水生生物の調査を行った。みんなで川をガサガサと、タモ網で探して、水生生物を採った。ここでも大人が真剣になり、大体大人はエビとか魚を取るのに夢中になることが多い。水生生物調査が遊びとして成り立っているのも、仁淀川の豊かな生態系の証だと思っている。珍しいドジョウも発見できた。カゲロウとかトビゲラとかが多かったが、みんなで名前探しも行い、虫の名前を覚えながら、きれいな川に棲む生物はこういうものだという事も勉強してもらった。
- ・次にカヌー体験を行った。カヌーに乗って、ゆったり流れながら水面近くから見る、仁淀川のすばらしい景色を堪能した。ここでも大人が夢中になっていた。

こういう親子体験をすることで、**親を見る子どもの目線が変わる**という、本当に素敵な体験だと思うし、“**仁淀川が持つ力**”でもある。

川に親しむということで、親子で川に触れあって、なおかつ、“**親子の絆**”が深まっていくということであれば、これが**最高の仁淀川の親しみ方**ではないかと思っている！

仁淀川に親しむプロジェクト（取り組み状況）

啓発用チラシ



親子カヌー体験の様子（すべて2010.9.25）



子供たちはすぐにスイスイ〜！！

お父さんたちも頑張ります！けっこう皆、うまいじゃん！！

「水切り」に夢中になるお父さん！



水生生物を見て触って体験

水生生物観察会



仁淀川の豊かさを知る（川エビ）

